

### I 第37週の発生動向 (2015/9/7~9/13)

1. 手足口病については、県内すべての保健所管内で**警報**が継続しています。
2. ヘルパンギーナについては、患者報告数が前週の72人から48人に減少しました。
3. RSウイルス感染症については、患者報告数が前週の30人から18人に減少しました。
4. インフルエンザの患者報告数は1人で、迅速診断キットによる型別はA型でした。

### II 第37週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、**警報・注意報**については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
	小児科 内科															
インフルエンザ	1	0.08											1	0.02	1	
小児科	RSウイルス感染症	2	0.25	1	0.11	9	0.90			6	1.00			18	0.43	-12
	咽頭結膜熱	3	0.38			4	0.40	1	0.20			1	0.25	9	0.21	0
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	0.25	11	1.22	34	3.40			2	0.33	1	0.25	50	1.19	15
	感染性胃腸炎	14	1.75	11	1.22	6	0.60	4	0.80	7	1.17	11	2.75	53	1.26	-5
	水痘	2	0.25			5	0.50	1	0.20	2	0.33	1	0.25	11	0.26	5
	手足口病	51	6.38	75	8.33	32	3.20	12	2.40	65	10.83	72	18.00	307	7.31	-170
	伝染性紅斑							1	0.20	1	0.17	2	0.50	4	0.10	-7
	突発性発しん	2	0.25	4	0.44	6	0.60			4	0.67	2	0.50	18	0.43	2
	百日咳			1	0.11									1	0.02	1
	ヘルパンギーナ	23	2.88	11	1.22	1	0.10	4	0.80	6	1.00	3	0.75	48	1.14	-24
流行性耳下腺炎	1	0.13							1	0.17	1	0.25	3	0.07	-1	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎	1	0.50	1	0.33	1	0.50							3	0.27	-3
基幹	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎					1	1.00							1	0.17	1
	マイコプラズマ肺炎											5	5.00	5	0.83	0
	無菌性髄膜炎															-1
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)							1	1.00					1	0.17	1

### III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

■は警報、■は注意報。「空欄」: 患者発生無し。

- ・結核(二類全数把握疾患): 東地方+青森市2人、弘前3人、八戸1人、上十三1人 (2015年計:215人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患): 東地方+青森市1人 (2015年計:44人)
- ・カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(五類全数把握疾患): 東地方+青森市1人 (2015年計:14人)
- ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症(五類全数把握疾患): 東地方+青森市1人 (2015年計:2人)

### IV 病原体検出情報 検出情報はありませんでした。

## 感染症の窓

### つつが虫病 (四類全数把握疾患)

山野に出かける際は  
気を付けましょう!

つつが虫病は、ダニの一種ツツガムシが保有するつつが虫病リケッチア(*Orientia tsutsugamushi*)を起因とする感染症です。ヒトがつつが虫病リケッチアを保有するツツガムシに刺されると、5日~14日の潜伏期の後、全身倦怠感、食欲不振とともに頭痛、悪寒、39℃以上の高熱を伴って発症し、皮膚には特徴的なダニの刺し口がみられ、その後数日で体幹部を中心に発疹が見られるようになります。

例年青森県では、春~初夏(5月~7月)及び秋~初冬(10月~12月)に発生のピークが見られます。今年は4月末に患者が1人発生し、5月に2人、6月に5人発生しています。これからの時期、山林、河川敷などの草地、耕地などに立ち入る時は注意が必要です。

予防対策として以下の事項を守ってください。

1. 素肌の露出を避け、長袖、長ズボン、長靴、手袋等を着用する。
2. 立ち入り後は入浴し、体に付着しているおそれのあるツツガムシ幼虫を洗い落とす。
3. 着ていた服はすぐに洗濯する。

なお、症状が現れた場合は、早めに医療機関を受診してください。

【参考】厚生労働省 HP、国立感染症研究所 HP

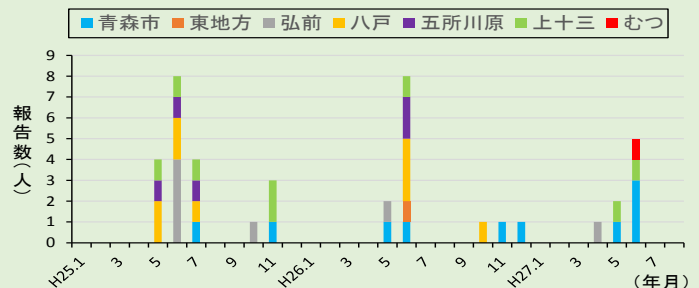


図: 県内におけるつつが虫の保健所別報告数の推移 (平成25年~平成27年)

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2015年第27週～2015年第37週）

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
27	H27.6.29 ~ H27.7.5	腸管出血性大腸菌 感染症12人 梅毒1人		腸管出血性大腸菌 感染症1人 侵袭性肺炎球菌感 染症1人			カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人
28	H27.7.6 ~ H27.7.12	腸管出血性大腸菌 感染症7人	腸管出血性大腸菌 感染症1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人			
29	H27.7.13 ~ H27.7.19		アメーバ赤痢1人	カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人			腸管出血性大腸菌 感染症1人
30	H27.7.20 ~ H27.7.26			カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人 侵袭性肺炎球菌感 染症1人 梅毒1人			
31	H27.7.27 ~ H27.8.2		急性脳炎1人		破傷風1人		
32	H27.8.3 ~ H27.8.9	腸管出血性大腸菌 感染症1人		カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人		腸管出血性大腸菌 感染症4人	
33	H27.8.10 ~ H27.8.16	レジオネラ症1人		腸管出血性大腸菌 感染症1人		腸管出血性大腸菌 感染症1人	
34	H27.8.17 ~ H27.8.23	アメーバ赤痢1人		水痘(入院例)1人	レジオネラ症1人		
35	H27.8.24 ~ H27.8.30	腸管出血性大腸菌 感染症2人 劇症型溶血性レンサ 球菌感染症1人	侵袭性肺炎球菌感 染症1人	カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人			
36	H27.8.31 ~ H27.9.6	アメーバ赤痢1人 カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人		アメーバ赤痢1人			
37	H27.9.7 ~ H27.9.13	腸管出血性大腸菌 感染症1人 カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人 劇症型溶血性レンサ 球菌感染症1人					

VI 結核(二類全数把握疾患) (2015年第27週～2015年第37週)

単位：人

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
27	H27.6.29 ~ H27.7.5	2	2	2			1
28	H27.7.6 ~ H27.7.12	1		1			
29	H27.7.13 ~ H27.7.19	2		1	1	2	
30	H27.7.20 ~ H27.7.26		1	2			
31	H27.7.27 ~ H27.8.2	2	1			1	1
32	H27.8.3 ~ H27.8.9	1	2	3		1	
33	H27.8.10 ~ H27.8.16	1	1				1
34	H27.8.17 ~ H27.8.23	3	1	1	1	1	
35	H27.8.24 ~ H27.8.30	1		3		2	
36	H27.8.31 ~ H27.9.6	3	1	1		1	
37	H27.9.7 ~ H27.9.13	2	3	1		1	

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国

(2015年第1週～第35週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	回帰熱	コクシジオチチス症	重症熱性血小板減少症候群	チクンゲニア熱	つが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	マリアア	野兔病	ライム病	類鼻疽
累積報告数	16026	3	105	2400	22	23	129	176	8	5	3	2	43	11	77	174	105	4	28	2	7	1
分類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルトヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵袭性インフルエンザ菌感染症	侵袭性髄膜炎菌感染症	侵袭性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クブコックス症	破傷風	ハコマイシ菌耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	970	9	741	167	1002	348	9	120	299	944	50	166	23	1576	208	1586	77	75	42	125	28	23

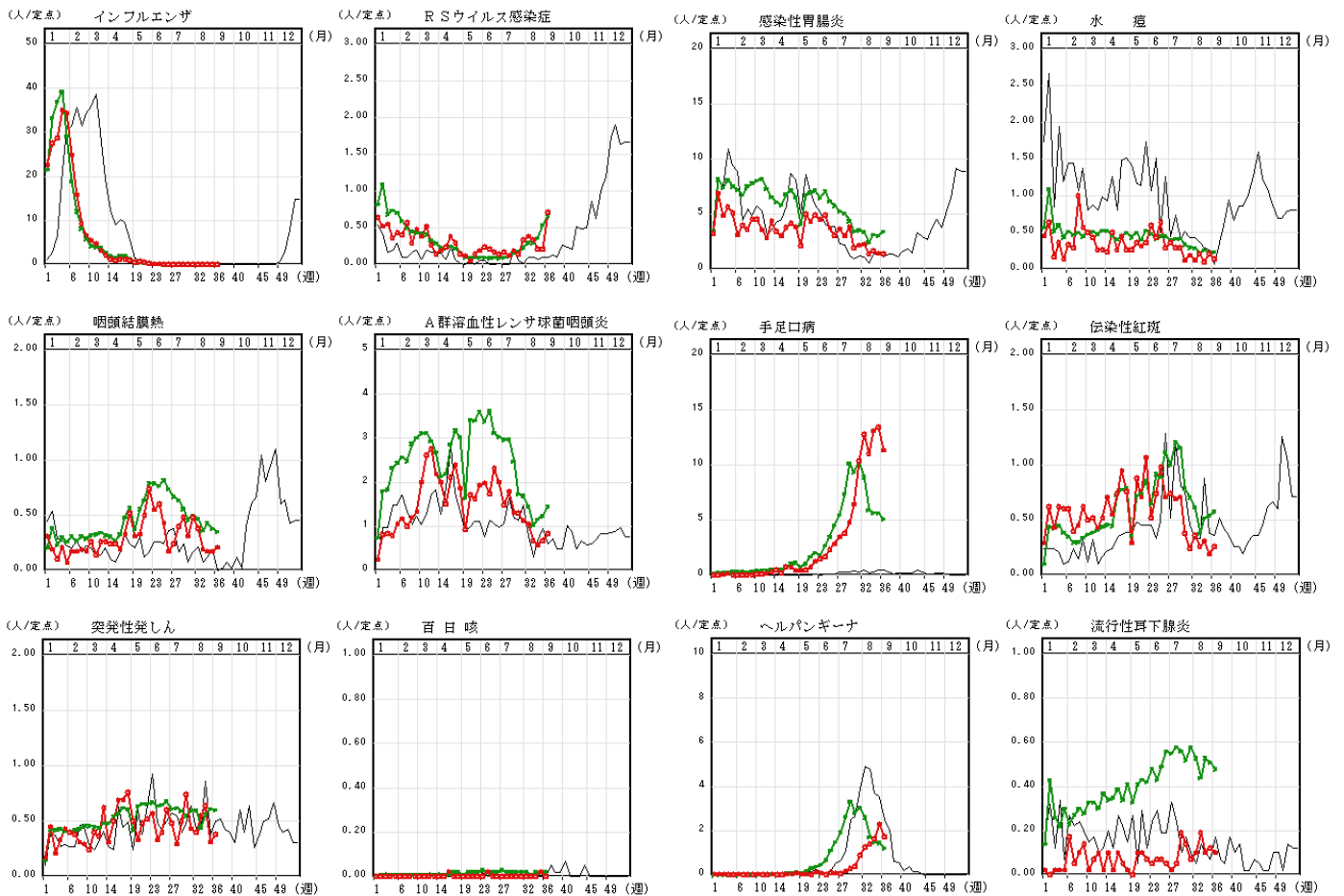
青森県

(2015年第1週～第37週累計)

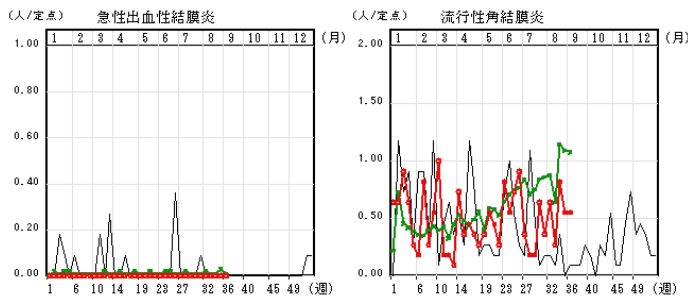
分類	二類	三類	三類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	細菌性赤痢	つが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルトヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵袭性インフルエンザ菌感染症	侵袭性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	破傷風				
累積報告数	215	44	1	8	2	9	1	14	2	1	2	2	2	14	3	5	1				

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2015年第36週)

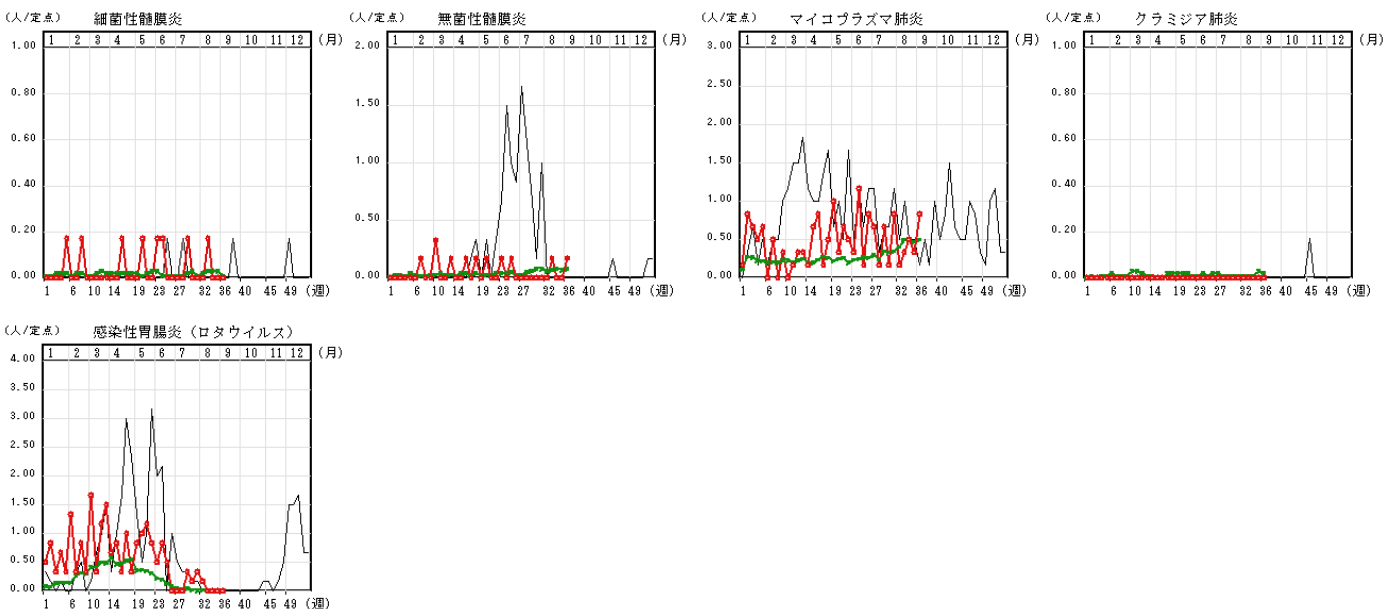
グラフの説明 ○—○は2015年青森県、——は2014年青森県、 ×—×は2015年全国



Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移 (2015年第36週)



Ⅹ 基幹定点把握疾患週別推移 (2015年第36週)



## XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

第37週は報告がありませんでした。

### 平成27年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計 (施設別)	
		1-4週	5-8週	9-13週	14-17週	18-22週	23-26週	27-30週	31-35週	36週		37週
介護・老人福祉関係施設	件数	7	5	1	0	2	0	0	0	0	0	15
	発症者数	107	94	47	0	27	0	0	0	0	0	275
児童・婦人関係施設等	件数	3	0	1	1	0	1	1	0	0	0	7
	発症者数	61	0	5	19	0	14	28	0	0	0	127
障害関係施設	件数	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
	発症者数	0	0	10	0	0	16	0	0	0	0	26
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	10	5	3	1	2	2	1	0	0	0	24
	発症者数	168	94	62	19	27	30	28	0	0	0	428